



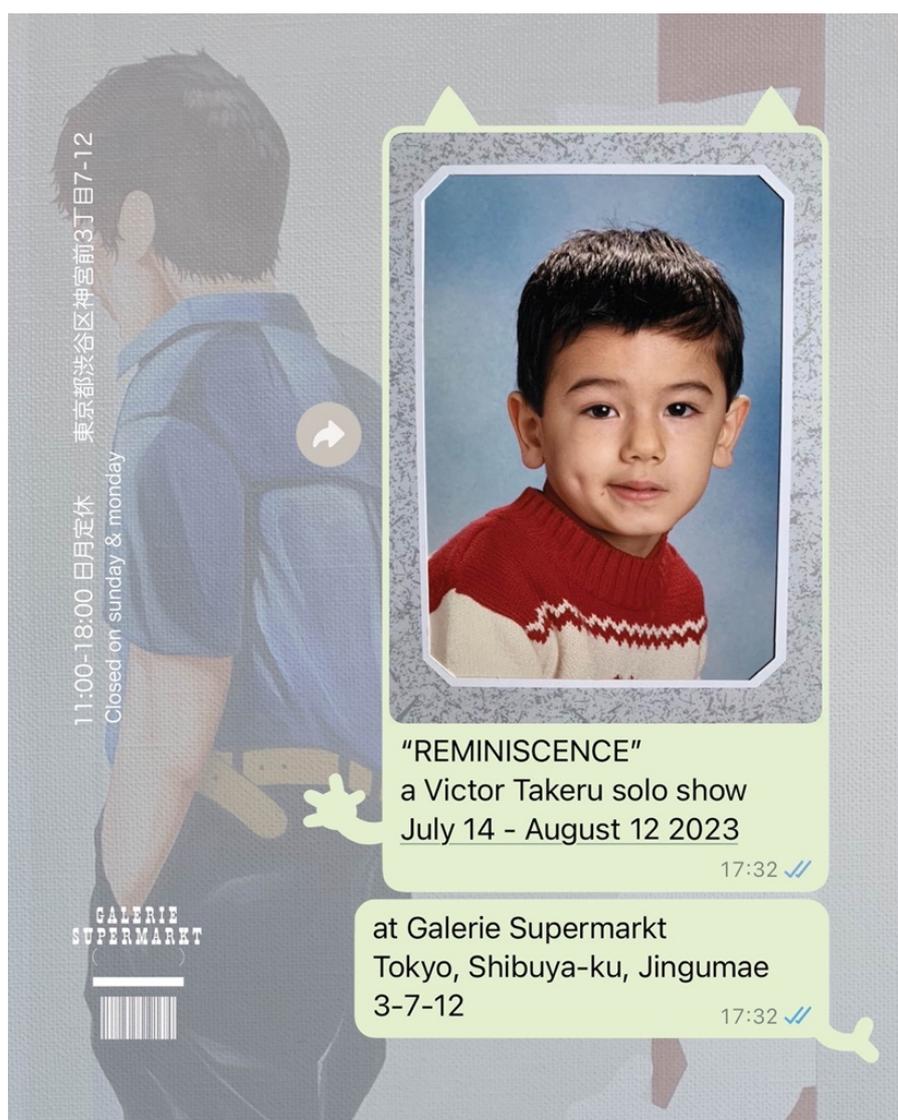
神宮前を拠点とするギャラリーGalerie Supermarktにてビクター・タケルによる

## 個展「Reminiscence」が7月14日(金)から8月12日(土)まで開催

ーパリと日本のバックグラウンドを持つビクターの記憶や日常の出来事をポップで鮮やかに描き、文化的多様性の美しさを表現ー

神宮前を拠点とするギャラリー、Galerie Supermarkt は、パリ出身のアーティスト、ビクター・タケル(Victor Takeru)による個展「Reminiscence」を7月14日(金)から8月12日(土)まで開催します。フランスと日本のバックグラウンドを持つビクターは本展で、親密な人物との記憶や日常の出来事をポップで鮮やかに描き、文化的多様性の美しさを鑑賞者に提示します。

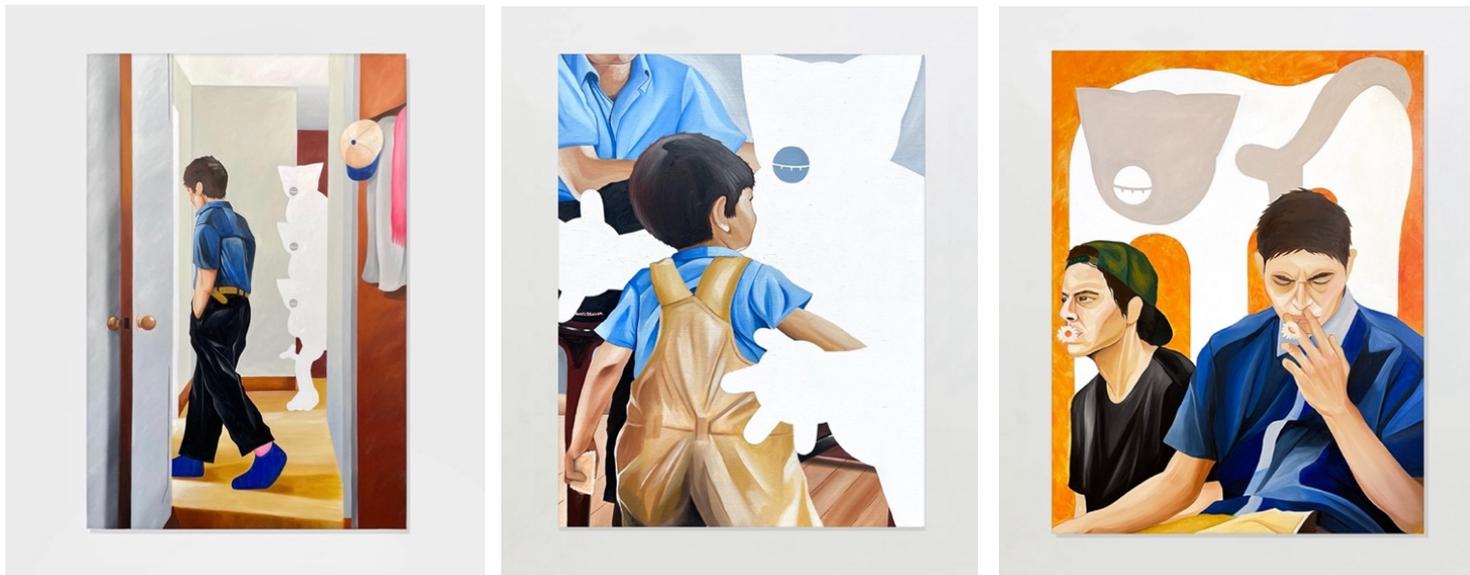
ビクターは近年、渋谷・TRUNK(HOTEL)にて個展「EVERYTHING HAPPENS FOR A REASON」や、渋谷 PARCO で「SHIBUYA PARCO ART WEEK」期間中に開催されたグループ展「A group exhibition "DONOKO?" Portrait series」に参加しました。また、昨年は Galerie Supermarkt 企画のグループ展「Stride」、本年度はイタリア C+N Gallery CANEPANERI で開催中の二人展「Same Day Service」に参加するなど国内外問わず活躍し、若者やコレクターから注目を集めています。





## ■ 展覧会詳細

ビクターの絵画に登場する人物は、しばしば目を閉じ、視線を逸らすことで平穏さと安寧を表現し、多様性の美しさを鑑賞者に伝えます。また、ビクターの作品に頻繁に現れる猫は、ビクター自身ともいえ、その陽気な姿は作品に遊び心を加えるシンボルです。



パリで生まれ育ち、日本とフランスの血を引くアーティスト ビクター・タケルは、多文化的な日常、そして彼の周りに溢れるコミックや音楽の鮮やかな世界にインスパイアされています。

1998 年生まれのビクターは、21 歳で初めて東京に移住してから日本特有の文化を自身の作品に取り込み、フランスと日本のカルチャーを融合させたユニークな作品を生み出しています。カラフルで鮮やかな色使いとシンプルな構図を駆使することで、ポップで鮮やかで、エネルギーに満ち溢れた雰囲気を作り出します。生き生きとした日常の瞬間を描き、「思い出」が作品において重要な役割を果たします。幼少期の思い出を象徴し、ビクター自身とも言える猫を絵画に登場させることで、文化が衝突する際に生じる緊張感を、安らぎや安心感、ユーモアに変換し、個人的な出来事を普遍的な感覚に昇華します。

ビクターは、文化的アイデンティティの複雑さや様々な文化的視点に対する理解への重要性を絵画を通して実践します。伝統と現代、フランスと日本、個人的なものや普遍的なものを対立的に融合させ、アートの表現力が人々を結びつける力を示しています。多様な文化的要素を組み合わせ、新しい世界を作り出すことで、鑑賞者に文化交流や創造的なコラボレーションによって生み出される美しさを想起させます。彼の作品は、鑑賞者自身の文化的アイデンティティや文化交流が、世界の理解を形作る上で果たす役割について、思考を促します。ぜひ本展「Reminiscenc」でビクターの記憶の旅を通じて、異なる文化が交差する際に生まれる美と豊かさをご覧ください。



## ■アーティスト

ビクター・タケル Victor Takeru



1998 年生まれのビクターはフランスと日本の血を引き、フランスのパリで育ちました。まだ物心つく前、鉛筆を握れる頃には絵を描き始め、フランスと日本のコミックや音楽からインスピレーションを得ています。21 歳で拠点をパリから日本に移したビクターは、日本文化を作品に取り入れ、フランスと日本の美学をシームレスに融合します。そして鑑賞者自身の文化的アイデンティティと対峙させることで、文化的交流が私たちの世界で異文化間の共通理解を形作る上で果たす役割を考えさせます。

## ■開催概要

「Reminiscence」

会期: 7月14日(金) - 8月12日(土)

開廊時間: 11:00 - 18:00

会場: Galerie Supermarkt

住所: 東京都渋谷区神宮前3丁目7番12号

Instagram: [https://instagram.com/galerie\\_supermarkt](https://instagram.com/galerie_supermarkt)